成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和7 年度

市町村名	草加市			
提案事業名	顔の見える経済循環強化とにぎわいづくり			
事業期間	令和7 年度	～	令和7 年度	
事業の必要性、目的	草加市の地域経済循環率は、県内下位であり、地域経済自立度が著しく低く、コミュニティや都市型産業の不足に伴い、寝に帰るだけのまちとなっている。今後も、市民に選ばれるまちとなるためには、市内各駅周辺市街地で魅力的なコンテンツを創出し、顔の見える経済循環を促進する。			
成果指標	(成果を検証する指標) 家守育成プロジェクトを通じた事業プラン提案割合			
	(成果検証の具体的な方法) 家守育成プロジェクトを通して、参加者により自発的に定めたエリアで地域資源を活用し、都市・地域経営課題を解決する動きを実施できるような事業プラン提案が行われた割合を調査する。			
	(上記の指標を設定した理由) 参加者による話し合いで終わるのではなく、事業化するためのプランを策定し、提案を行うことで、事業化の実現性を高める。			
	(成果の目標)			
	① 定量的指標の場合			
	現状値 (7年4月現在)	0	目標値 (8年3月時点)	50%
	② 定性的指標の場合			
	現状 (年 月現在)			
	目標 (年 月現在)			
	(施設建設等の場合)			
年間利用者数 (目標) (人)		稼働率 (目標) (%)		
住民への公表方法及び特記事項	本調書を市ホームページに掲載			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和7年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費 (千円)
① 家守育成プロジェクト及びそらり/バージョンまちづくり 啓発活動	ハード ソフト 間接補 家守育成プロジェクトにより、提案のあった事業プランを成功させることで、顔の見える経済循環を促進する。	8,867
②	ハード ソフト 間接補	
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
合計		8,867

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	家守育成プロジェクト参加者が事業プランを策定するに当たり、各種相談を受け付け、他機関との調整が必要な事項が出てきた際に関係機関へ繋ぐとともに、必要に応じて同行訪問等の伴走支援を行う。
成果指標の達成見込み	家守育成プロジェクト参加者に伴走支援を行うことで、達成可能と考えます。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。